



南藤 陽一(なんとう よういち)議員

一括質問

## 中小企業・小規模事業者向けの補助金政策について

◆国の補助金制度の利用促進について

Q 国では中小企業・小規模事業者向けの補助金制度の拡充を図っている。地元企業が国の補助金を利用して設備投資を行えば地域経済に好影響を与えるが、国の補助金申請は煩雑で獲得しにくい面がある。本市としての利用促進に向けたこれまでの取り組みと今後の推進策は。

A 国の支援策を受け、3年間固定資産税をゼロとする条例の一部改正を上程している。さらに、周知活動のみならず申請作業を支援するため、ビジネス創造プラザに産業振興支援員を配置し、具体的なアドバイスを行っている。

◆本市の補助金政策について

Q 本市の補助金メニューは、業種別で要件や補助率に差を付けているが、従業員数の企業レベルも条件に加えれば、補助金利用の需要が高まるのではないかと。

A 社会情勢の変化や企業ニーズを捉え、支援策の拡充を行ってきたい。今後も適切な対応を図りたい。

Q 国の補助金メニューの申請に対して、コンサルタント費用の助成や専門員の配置など、利用促進に向けた支援策を検討してはどうか。

A 小松市から商工会議所へ支援を行っており、中小企業診断士等の経営の専門家による無料相談を受けられる。積極的に活用いただきたい。

◆アレルギー疾患を持つ子どもたちの対応について

Q アレルギーを持つ子どもが近年急増しており、どのように対応していくかが教育現場の課題であるが、本市の取り組みは。

A こども園から小学校など、上級の学校の先生方につないでいくことを強めている。

Q 教育現場では、「生活管理指導表」に基づき対応しているとのことだが、これを医療費の一部とみなして無料化できないか。

A 医師会に問題提起しているが、様々なルールがあり統一できないとのことである。引き続き検討したい。



川崎 順次(かわさき じゅんじ)議員

一括質問

## 子どもの安全第一に！通学路に防犯カメラの設置を

◆曳山八基曳揃えの小松駅前上演の定着化について

Q 2023年北陸新幹線の敦賀までの開通にあわせ、駅前上演を定着化させてはどうか。

A 会場は小松曳山八町連絡協議会で決定する。関係者とともに考えていきたい。

◆安全対策について

Q 通学路に防犯カメラの設置で犯罪の抑止になるが。

A 防犯カメラの活用について話し合うことにより、より適切で有効な対策となり得ると理解している。

Q 町内会の防犯カメラ設置について、設置費用の一部を助成しては。公用車すべてにドライブレコーダーを取り付けては。

A ごみ集積所の監視カメラ等の設備設置等は補助対象となる。ドライブレコーダーは公用車243台中36台に設置済みである。

Q 小中学校などでの安全講習会の実施を望む。

A 必要な施設への防犯用具の設置や、マニュアルに基づく対応力の向上に努めていきたい。

◆山間地の学校跡地利用について

Q 山間地などに思い切った若者たちが楽しめるスケートボードなどの施設の誘致を考えてはどうか。

A 里山地域の廃校等を地域の特性を活かし活用してきた。今後も地域の活性化につながるよう地元と協議し検討していく。

◆公共下水道関連施設の維持管理について

Q 仕様発注方式から性能発注方式の移行によるコスト削減はVFMのマイナス8%だが、何に對しての8%なのか。

A 公共が行う従来方式と比べ削減できる割合を示すものがVFMであり、金額にして3年間で約6千万円の削減を目指している。

Q 3年後に汚泥処理場も含め再検討することだが、コンセッション方式など方法はいっぱいある。一番コスト削減が多いやり方をぜひ望む。

A 短期、中期的な視点に立った下水道施設の維持管理業務に努めていく。



梅田 利和(うめだとしかず)議員

一括質問

## 新時代に向けた防災体制づくり、 防災ひとづくり、防災まちづくり

◆公共下水道施設維持管理事業  
について

Q 委託内容について。

A 施設の消耗品や薬品の調達業務、小規模修繕等、できるだけ委託に任せていく。

Q 本事業のメリットは。

A 在庫管理のノウハウなどを期待している。

Q 本方式でどれぐらいの事務量削減とお考えか。

A 平成29年度だけでも小修繕工事が57件、各設備の点検業務が55件、調達業務が387件あった。

Q 本事業の今後のスケジュールは。

A 公募型プロポーザルを行う。10月にプレゼンテーションを実施し、その後、優先交渉権者を決定し、平成31年4月から実施できると思っている。

◆ぼうさい探検隊について

Q 子どもたちの反応は。

A 終始真剣な眼差しで学習している様子が見られた。危険な箇所では目で確認する動作に加え、災害の怖さを体感することによって、飛躍的に防災意識が高まった様子が見られた。

Q 実施して課題はあったか。

A お年寄りへのインタビューを取り入れ、過去にあった災害の履歴をマップに落とすことができれば、より質の高いマップになったと思う。また、実際の危険箇所にはピクトグラム(絵文字)による表示まで完成すれば、より実践的だったと思う。

Q 子どもたちの防災意識向上のために今後どのように進めるのか。

A 防災マップをもとに、地域の実情に合わせた訓練を実施していく。この事業は、5力年で市内全校での実施を目指す。



真剣に取り組む子ども達

◆学校の働き方改革は

Q 県教育委員会から教職員の多忙化改善に向けた方針が出されたが学校や市の取り組みは。休日は競技団体との連携でスポーツ環境の充実を。

A 学校では目標を決め会議の短縮などの業務改善を行い、市は最終退校時刻や部活動休養日を設定している。

Q 新たな学校閉庁日や外部人材については。講師不足は。

A 8月14日から16日まで教職員が休暇を取得できる。部活動指導員は5名が決定、教員業務の一部を担当スクールサポートスタッフを3名任用している。市として9名の非常勤講師や特別支援教育支援員、図書館司書の相談員等に入ってもらいたい。

Q 学力調査が先生と子どもたちの負担になっていないか。福井県では中学生が亡くなり、学力を維持することがストレスの要因であった。

A 実態に応じた学習指導を期待しており、過度の負担をかける指導であってはならない。

Q 小学校で始まった特別の教科道徳の指導と評価は。来年からの



浅村 起嘉(あさむらきよし)議員

一問一答

## 新たな教育の状況について

中学校の教科書採択は。傍聴を希望する声があるが。

A 自分の生活を見つめ道徳的な価値を考える授業により、自分の成長を実感する評価を目指す。採択委員会、教科指導法研究会、教科書展示会を開催し、非公開の教育委員会会議で採択する。

◆福祉イノベーション推進費

Q 新しく拡充されることとなった背景と事業の内容は。

A 国は介護分野での質・生産性の向上により負担軽減、人材確保を図ろうとしている。これまでの介護ロボットに加え、センサー機能機器の導入にも助成を行う。排尿センサーは超音波で膀胱

内の尿量を把握するもので、夜間のおむつ交換が減少し、職員の業務軽減と利用者も熟睡でき、ケアの質を向上できる。



センサーは尿量を数値で



宮西 健吉(みやにしけんきち)議員

一問一答

## 拙速に進めるな！市民大学

◆公立小松大学の地域連携事業と市民大学を区別しては

Q 市民による市民大学の目的、役割は。

A 活力ある地域づくりを担う人材育成を目的に設立する。

Q 市民公民館9館の目的役割は。校下公民館の目的役割は。

A 地域に密着した生涯学習拠点として講座を行っている。校下公民館は、校下の各種団体等と連携し地域ごとの特徴ある活動を行っている。

Q 生涯学習とリカレント教育の違いは。リカレント教育は市民大学の一環なのか。

A 生涯学習は、生涯にわたり様々な場や機会において行う学習のことである。リカレント教育は、企業人教育等として行われている。

Q 市民大学はリカレント教育とは少し違うものになっている。

A 地域連携事業は公立小松大学が主体で行うが、市民大学と連携する必要があり、一体的に予算計上した。

Q 市民大学のキャンパスは。

A まち全体がキャンパスであり、メインは公立小松大学、第一コミセン、芦城センターである。

Q 受講生目標千人、独自の単位、学位認定制度とは。利点は。

A 初年度は約400名の計画で、2年目以降は千名を目指したい。市民大学のカリキュラムについて、コースは。また運営の事業費は。受講料は。

Q アカデミックな15講座を計画している。総事業費を1500万円とし、市負担500万円を予算化した。1講座2500円〜5千円の受講料である。

Q 大学の地域連携事業の事業費は。概要は。

A 講演会などを大学主体で行う。総事業費は1460万円の見込みで、市負担金300万円を予算化した。

Q 今後のスケジュールは。NPO法人化は。

A 7月から受講生を募集し、9月開校予定である。市民主体の運営体制について、NPO法人化を含め検討していきたい。

## 議案ってなに？

議案とは、議会の意思決定(=「議決」といいます)を必要とする市の重要な案件のことをいいます。市の基本構想や条例の制定・改正、予算、決算など、提出された議案はすべて議会でチェックしたのち、議決します。

### 市長提出議案

〇〇基本構想 小松市をこんなまちにしていきます。  
・基本計画 □□や△△の整備を進めていきます。

予 算 □□と△△の整備を進めるので〇〇億円の予算が必要となります。

決 算 □□と△△の整備に〇億〇千〇百〇円使い、進捗率は〇%になりました。



このように、議案は一つひとつ議会で話し合わせ、市政へとつながっています。皆さんの身近な問題も、議案として提出されているはず。小松市議会ホームページでチェックしてみてください。

### 豆辞典

#### 質疑ってなに？質問って？

議案に対して内容や不明な点など聞くことを「質疑」といいます。これに対し、議案以外の市政全般についても自由に聞くことができ、これを「質問」といいます。

# 常任委員会 審査報告

## 予算決算

委員長 灰田 昌典  
副委員長 宮西 健吉  
全議員所属

### 議案第50号 平成30年度小松市一般会計補正予算(第1号)について

#### ■寄附金について

故人のご遺志により、ご家族様より1千万円のご寄附の内500万円を高等教育振興基金に積み立てするものです。ご遺志に添うような活用に期待を致します。

#### ■福祉イノベーション推進費について

小松市経営モデルチェンジ支援事業に福祉分野を新設し、介護施設等で働く職員の負担軽減や利用者へのケアの質の向上を図るため、センサー機能等を活用した最新機器の購入費を助成するものです。最新機器の導入による就労環境の改善や生産性の向上は障がい福祉の分野においても見込まれるため、対象分野の拡大について検討するよう求める意見がありました。

#### ■フローラルこまつ推進費について

木場潟周遊園路のうち桜並木がつながっていない区間に、県民・市民の参加で桜を植樹し、1周6.4kmの桜回廊を整備するため、石川県との合同事業により「木場潟公園桜回廊整備事業」に取り組みものです。桜木の購入費用を県民・市民から広く寄附を募り、北陸新

幹線開業を見据えた桜の名所として更なる公園の魅力発信するものですが、新幹線から見る絶景日本一と合わせて、木場潟を歩く人の視線からの景観整備も求める意見がありました。

### 議案第55号 小松市ごみ処理施設整備基金条例の一部を改正する条例について

エコロジーパークこまつ7月稼動を契機に、条例の名称を変更し、基金の目的をこれまでの施設整備に加えて運営費も対象として拡充するものです。このたび、市直営から委託への運営形態の変更に合わせ、防衛9条(防衛施設周辺)の生活環境の整備等に関する法律第9条の交付金規定に基づき、交付金を基金に積み立て、運営事業として活用するものです。

### 議案第62号 専決処分の承認を

求めることについて中 平成29年度 専決第10号 平成29年度小松市一般会計補正予算(第7号)、ならびに平成29年度専決第11号 平成29年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について

### ■学習等供用施設建設費について

学習等供用施設に関しては、国に対して工事費高騰の現状にあわせて補助基準の見直しを求め、町

内会に過大な負担がかからないように、地元負担の軽減を求める意見がありました。

### ■授業支援費について

きめ細かな指導・複式授業解消非常勤講師の賃金に要する経費ですが、一定の人員を確保できなかったため、減額補正を行ったものです。非常勤講師については、慢性的な人員不足により、必要人数の確保が難しい状況が続いているとのことですが、このような事業の実施にあたっては、確実な人員確保に努めるよう求めました。

### ■国民健康保険特別会計について

歳入増による黒字決算が見込まれるため、国民健康保険事業基金からの繰入を行わないことにしたとのことですが、平成30年度から国民健康保険の財政運営主体が県に移行したことに伴い、今後の国・県からの交付金等の動向をしっかりと注視していくよう求める意見がありました。

### 報告第4号 平成29年度小松市

産業団地事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

産業団地(正蓮寺エリア)の付帯工事に伴う繰越分で、現行の上水道施設では水圧が不足するために加圧ポンプを整備する費用を全額繰越したものです。その他の付帯工事についてはすべて完了しており、加圧ポンプ整備については8

月末を目途に完成を予定しているとのことです。

### 報告第9号、第10号、及び第12号 法人の経営状況の報告について

#### ■小松市土地開発公社について

市の計画的な健全化促進事業を受けけるなど、継続的に簿価軽減に努めるよう、また、全国的な情勢も把握し今後の小松市土地開発公社のあり方について検討するようとの意見がありました。

#### ■小松市開発公社について

現在、月極駐車場12カ所、時間貸し駐車場6カ所とのことですが、駅周辺の需要を常に意識し柔軟な対応を求める意見がありました。

#### ■株式会社こまつ賑わいセンターについて

今年度も引き続き、カブッキーランドと小松うどん道場つるつるを運営することに加え、小松駅周辺の利活用促進を目的に、こまつ820ステーションと町家ハウスRyusukeの管理委託を受けているとのことであり、活用を期待するものです。



町家ハウス Ryusuke